

コウノトリは

日本では1971年に絶滅しましたが
その後の野生復帰の取組みにより現在は各地
に380羽が野外で暮らしています。
珠洲市にもたびたび飛来し、2022年8月には
4羽が一度に見られました。ドジョウやカエルな
どの田んぼの生き物も食べるコウノトリ。
豊かな里山の風景を守っていくためにはどんな
ことができるでしょうか。



コウノトリ Photo 岸岡 智也

令和5年度珠洲市 SDGs学習取組報告会



定置網漁業 Photo 岸岡 智也

12.2 土

@ラポルトすず 大ホール

開会挨拶 13:35

取組報告 13:40

閉 会 16:00

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

報告会の映像はこちら

能登SDGsラボ



プログラム

- 13:35 開会挨拶 珠洲市教育長 吉木 充弘
- 13:40 小学校・義務教育学校前期5.6年生
1. 上戸小学校
 2. 飯田小学校5年生
 3. 飯田小学校6年生
 4. 直小学校
 5. 若山小学校
 6. 正院小学校5年生
 7. 正院小学校6年生
 8. 蛸島小学校
 9. みさき小学校5年生
 10. みさき小学校6年生
 11. 宝立小中学校5年生
 12. 宝立小中学校6年生
 13. 大谷小中学校
- 休憩 < 20分 >
- 中学校・義務教育学校後期
14. 緑丘中学校1年生
 15. 緑丘中学校2年生
 16. 緑丘中学校3年生
 17. 三崎中学校
 18. 宝立小中学校7.8.9年生
 19. 大谷小中学校7.8.9年生
- 16:00 閉会

報告会の趣旨



総合的な学習の時間を
中心に学習しているSDGs
学習の取組について報告
会を実施し、学校間での
学びを共有して、考えを
広げたり深めたりする学
習の機会とします。

また、保護者や総合的
な学習にご協力いただい
ている地域の方々へ学習
内容を発信する機会とし
ます。



profile

講評 池端 弘久 イケハタ ヒロヒサ

教師として金沢市の小学校やギリシャのアテネ日本人学校に勤務後、金沢市教育委員会学校指導課長、金沢市立中央小学校の校長、金沢市ふれあい研修センター館長、シンガポール日本人学校小学部チャンギ校の校長を務め、教育現場におけるESDを進める。現在は、北陸ESD推進コンソーシアムのコーディネーター。

小学校・義務教育学校前期5.6年生

1. 上戸小学校

上戸っ子！町活性化Project！

自分を育ててくれた地域へ恩返しをしたい思いから、町活性化のために取組を行いました。具体的には上戸町の名物「かきもち」の販売を行い、多くの方々に知ってもらおうと試みました。かきもちの販売に際して宣伝のためのポスターを作ったり、お客さんに喜んでもらえるようにオリジナルシールを作ったりしました。さらに市外の小学校とオンラインで交流し、かきもちの魅力を伝えました。またその小学校にもかきもちの宣伝をお願いしました。

2. 飯田小学校 5年生

珠洲市の里山里海 ～特産品おむすび開発を通して～

珠洲市の特産品について調べることを通して、珠洲市の風土や環境、人、文化などの魅力を知りました。そんな素晴らしい珠洲市の特産品の魅力を多くの人に伝えるために、11人で「特産品オリジナルおむすび」を開発し、10月に「いいフェス」で販売しました。今日は、おむすび開発と販売までのプロセスを紹介し、保護者や地域の方々の協力、知恵から学んだことやこれから自分達にできることについて報告します。

3. 飯田小学校 6年生

100年先も続く飯田町 ～自分達にできること～

私達が暮らす飯田町。大好きな祭り、大好きな店、大好きな家族や地域の人など魅力がいっぱいあります。しかし、年々人口が減少しており、このままでは近い将来大好きな飯田町が無くなってしまいかもしれない。そこで「100年先も続く飯田町」というテーマで自分達にできることを考えてきました。たくさんの方々の話を聞き、たくさんの方に触れて自分達なりの地域のためにできることをしました。自分達が学習・体験してきたことを発表します。

4. 直小学校

たいけんたいすき直っ子が考えました！ わたしたちの海と地域について

私たちは体験を通してSDGsについて考えています。今年度初めは、学校近くの浜にごみがたくさんある現状から課題をもち、海の豊かさについて考えてきました。多くの体験を通して「身近な海がいつまでもきれいであってほしい」という思いを強く抱くようになりました。また珠洲市の人口減少が深刻な問題になっている現状を知り、防災や地域との関わりについても、自分達ができることを考えました。

5. 若山小学校

若山を支える人々

若山小学校ではこれまで、地元で働くことの意義や住み続けられる町づくりについて探求してきましたが、今年は視点を変え、若山を外から支える人たちに焦点をあて学習してきました。若山に縁のあった方に若山の魅力を教えてもらったり、地震をきっかけに増えたふるさと納税について調べたり、農村再生に取り組む方にお話を伺ったりして、ふるさとについて私たちなりに考えてきたことを発表します。

6. 正院小学校 5年生

正院町の魅力ってなに？

私たちのクラスでは、ゴール11「住み続けられる町づくり」をテーマに、正院町の魅力は何か、その魅力を受け継いでいくために自分たちができることは何かを考えました。他の町にはない正院町が誇れるところを「白鳥が飛来してくる町」「奴振を受け継いできた町」に絞って、地域の方に話を聞いたり、体験したりして取組の中で分かったことや、考えたことを報告します。

7. 正院小学校 6年生

安全・安心な町づくりに向けて 私たちにできること

5月に起きた地震の後、私たちのクラスでは、ゴール11「住み続けられる町づくり」「安全・安心な町づくり」をテーマに、災害から命を守るために、わたしたちできることは何かを考えました。そして、防災ハザードマップや防災パンフレットを地域に発信することを決め、地域の避難所や危険箇所の調査をしたり、地域の方から話を聞いたりして学習を進めてきました。取組の中で分かったことや、考えたことを報告します。

8. 蛸島小学校

海の豊かさを守ろう ～ これからの珠洲の海 ～

蛸島には珠洲一番の海「鉢ヶ崎海岸」や、「蛸島漁港」など海に関係する場所がたくさんあります。そのため「海」をテーマに身近な海岸で起きている問題について考えたり、その問題について関わる取組みについて学んだりしてきました。学んだことをもとに海のゴミ問題をどのように解決していくか、海の生き物が減っていかないようにするために気を付けないといけないことはなにか、これからも考えていきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



9. みさき小学校 5年生

みさきとトキ

みさき小学校のある粟津地区は、トキの放鳥推進モデル地区に選ばれています。そこで5年生は、トキが舞う里づくりをめざして減農薬による米作りに地域の方と取り組んできました。しかし、トキについては意外と知らないことが多く、地域の方にトキのお話を聞いたり動物園へ行き実物のトキを見たりして、トキについて学習してきました。そこから、トキが舞う里づくりのために自分たちにできることを考え取り組んだことを発表します。

10. みさき小学校 6年生

未来の珠洲を守る ～私たちにできることは～

6年生の「30年後の珠洲市は、どうなっているのだろうか？」という思いや「未来の珠洲を守りたい」という願いからスタートした本学習でしたが、再度の大地震を経験し、「地震と防災」へと課題が焦点化しました。そこで大学の先生や三崎中3年生の研究報告を聞いたり、みさき小のみんなに意識調査を行ったりしたことから、今の自分にできることを考え取り組みました。今後は、未来の自分ができることについても考えていきたいです。

11. 宝立小中学校 5年生

ふるさとと珠洲科

『産業と人～産業から珠洲を考える～』におけるSDGs

5年生は、ふるさとと珠洲科で「産業から珠洲を考える」のテーマのもと、塩づくりについて学んでいます。昔は宝立町も塩づくりが盛んに行なわれていて、珠洲の豊かな自然や里山が塩づくりと関係があったことを知りました。そこで、実際に宝立町で塩づくりをしていた方からお話を聞いたり、当時の道具を見せてもらったりしました。報告会では、持続可能な産業と自然について学んだことを報告します。

12. 宝立小中学校 6年生

ふるさと珠洲科

『人と歴史～珠洲焼から珠洲を考える～』におけるSDGs

6年生のふるさと珠洲科のテーマは「珠洲焼」です。私たちは、珠洲焼の歴史についてお話を聞いたり、陶芸家の皆さんから珠洲焼の魅力やこれからの展望について学んだりしました。また、珠洲焼の器づくりも体験しました。その中で、珠洲焼の歴史と豊かな自然環境が守られてきたことの関係性やカーボンニュートラルという視点で、珠洲の未来を考えることができました。珠洲焼から見えてきた持続可能な社会について報告します。

13. 大谷小中学校

空き家の増加の、『なぜ?』に迫る

珠洲市の課題である「人口（特に、子どもや若者）の減少」と「空き家の増加」について、自分たちだけでなく、様々な立場の人と意見交流しながら、学習してきました。自分たちの視野を広げ、今まで気づけなかった珠洲市の魅力に気づくとともに、「なぜ、空き家が増加するのか。」「なぜ、空き家の増加が問題になるのか。」「なぜ、空き家の問題の解決が難しいのか。」など、深めてきたことを報告します。



中学校・義務教育学校後期

14. 緑丘中学校 1年生

SuZuSoZo I 期

『地域と私～支えられた町づくり～』

8つの小学校から集まった緑丘中学校の1年生。今まで小学校で学んできた自分の地区から一歩足を伸ばし、今まで見てこなかった珠洲を知ることを目標に活動しています。今回は宝立地区の「空海伝説」を支える地域の人たちから学んだことを『No.8 働きがいも経済成長も』と関連させ報告します。

15. 緑丘中学校 2年生

SuZuSoZo II 期

『防災・減災学習～地域を支える中学生に～』

防災・減災とは何か。そして、中学生にできることは何か。もしもの時、大切な自分の命、地域の命をいかに守っていくかなどの学びを広げ、深めています。防災・減災を学ぶことは、『No.11 住み続けられる町づくりを』と大きく関わる学習です。『防災マップを学ぶコース』『避難時にできることを学ぶコース』『防災減災教室運営コース』の3コースに分かれて学習したことを報告します。



16. 緑丘中学校 3年生

SuZuSoZo III 期

『珠洲の里山の香り』プロジェクト

(花王株式会社、アステナホールディングスとのコラボ企画)

緑丘中学校3年生は次世代の珠洲をテーマとして活動しています。今年度は、花王株式会社と連携し、「珠洲の里山の香り」プロジェクトとして、珠洲の里山をイメージした香りづくりに取り組みました。澤野果樹園のフィールドワークや里山素材の調香などの実践活動から、実際に「珠洲の里山の香り」をつくりました。奥能登国際芸術祭の期間にサンプルを市内4か所で展示してアンケート調査を行いました。その結果をもとに報告します。

17. 三崎中学校

私たちが伝えたい！！三崎のいいところ、楽しみ方

皆さん、三崎と言えば何を思い出しますか？さんによもん？それともサーフィンでしょうか？私たちは、「持続可能な三崎」にするために、新たに人が集まる場所をつくりたいと思いました。中学生だからできないと考えるのではなく、中学生だからこそできることにチャレンジしたい！そんな思いをもって、1年生は自然の豊かさを、2年生は三崎での楽しみ方を伝えます。3年生は昨年に引き続き、体験型農園でのピザ窯づくり体験を報告します。

18. 宝立小中学校 7.8.9年生

安心して住み続けられるまちづくり

昨年の地震をきっかけに、修学旅行で防災（自助・共助・公助）や減災について学び、実際に私たちにどのようなことができるのかを考え実践しました。避難訓練を計画したり、宝立町の自主防災組織と連携したりしました。安心して住み続けられる宝立町を目指して取り組んだことについて発表します。あわせて、7～9年生が行っている、修行道の活用や里山里海について学んだ「ふるさと珠洲科」の取組についても発表します。

19. 大谷小中学校 7.8.9年生

大谷地区を未来に残すために ～大谷に来て！見て！住んで！～

私たちは「住み続けられる大谷町」をテーマに、各学年が探究活動を行っています。7年生は、祭りや地域を元気にするために、伝統存続と観光の視点で調査を行っています。8年生は、県内外の人に大谷地区を知ってもらうために、PRムービーを制作しています。9年生は、転入生や移住者を増やすために、大谷小中学校の魅力を伝えるリーフレットを制作しています。活動を通して感じたことや見えてきたことを発表します。